研　修　班　だ　よ　り　Ｎｏ．２

■振り返りについて

1. はじめに

前回は「学習課題」について書きました。今回の研修班だよりは、もう一つのマグネット、「振り返り」について書いてみたいと思います。

2. 振り返りとは？

前回の研修だよりで、学習課題は「その授業で生徒たちに一番つけさせたい力」であると書きました。だとしたら、その時間内で生徒がその力を身につけられたかどうかが、その授業の成否であると言ってもいいはずです。それを確認するのが振り返りになります。

振り返りをすることで、教師側は１時間の授業の成否がわかり、生徒が身につけた力を確認し、うまくいかなかったら反省して次の授業に活かすことができます。生徒の方は、ポイントを確認したり、わからなかったことを復習に活かしたりすることができるのです。

3. 次につながる振り返り

振り返りは、文字通り、「後ろを見る」ことなのですが、それだけではなく、次の学びにつなげていくこともできるのです。

「これがわかることで、それが何につながるのか」を示し、次時の興味につなげたり、「これはわかったけど、じゃああれはどうなのだろう？」と問いかけることで、生徒の主体的な学びに結びつけたりもできます。「後ろを見る」ことを通して、「前を向かせる」ことにつなげられれば理想的な振り返りになると思います。

4. 振り返りの例

振り返りも、ちょっと工夫するだけでより良いものになるようです。

・授業の最後に小テストをする　→　ペアで間違いを話し合って直し、教え合う
・（長方形の面積の求め方を学習した後で）「長方形の面積はどうやって求めるのでしたか？」と問う　→　「これを利用して三角形の面積は求められないでしょうか」と問う
・（小説の終わりに）「主人公の気持ちはどのようでしたか」と問う　→　「あなたならこの後どう行動しますか」と問う

5. おわりに

振り返りをするには、１時間の授業がまとまりのあるものでなければいけません。そして、授業の最後に振り返りの時間を取らなければいけません。まずは、「ベルが鳴ったので今日はここまで」の授業から脱却することから始めましょう。お互いに！